

かすか

KASUGA  
City Council Report



2026年  
6月1日発行

No. 225

令和8年 3月 定例会  
[定例会は年に4回開催]

CONTENTS

- P2 いってみた きいてみた
- P4 予算を議会がチェック
- P6 こんなことを決めました 議案審査
- P9 ここが聞きたい 一般質問
- P13 意見書・提言
- P14 臨時会
- P15 議会評価

# 議会だより



いつでも!  
どこでも!  
あつちでも!  
議会を  
見てもよう!



議会ウェブサイト

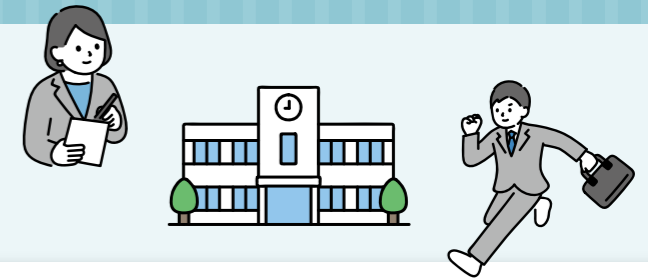


Facebook



Instagram

# 聞いてみた 聞いてみた



「つながるわ」×「春日市議会」対談

## ママとまち、議会をつなぐ

今回は、令和7年度春日市ふれあい文化センター市民公募企画「奴国のおとまちプロジェクト」採択事業「よりそいまち未来フェス2026」を主催された、Tsunagaruwa代表の豊田百恵さんに話を伺います。



Tsunagaruwa 代表 豊田 百恵



**ママたちの「声なき声」から始まった活動**  
西村広報特別委員長（以下、西村）「つながるわ」は、どのような思いから活動を始められましたか。

**豊田百恵さん（以下、豊田さん）** きっかけは、子育て中のママたちが抱える“孤独”でした。本当は助けてほしいのに「助けて」と言えない。周りに頼ることができず、一人で抱え込んでしまう方がとても多いと感じました。「同じ思いをしている人がつながれる場所をつくりたい」と思ったのが始まりです。

### 共感が生み出す「一歩踏み出す力」

**西村** 現在はどのような活動をされていますか。

**豊田さん** ママ目線でのイベントや企画を通して、社会との接点をつくる活動を行っています。例えば、同じ立場のママ同士が気軽に話せる場をつくったり、情報を共有したりすることで、「自分だけじゃない」と感じてもらうことを大切にしています。また、フリーペーパーの発行なども行い、必要な情報が届くよう工夫しています。

### 未来に向けた新たなチャレンジ

**豊田さん** これからは、小学生など次の世代に向けた取り組みにも力を入れていきたいと考えています。子どもたちが早い段階から「人とつながること」「助け合うこと」の大切さを知ること、将来の社会がよりあたたかいものになると思います。

### 市民から見た「議会」のイメージ

**中原議長（以下、中原）** 議会や政治に対して、どのようなイメージをお持ちですか。

**豊田さん** 正直に言うと、「何をしているのかよく分からない」という印象があります。議員の仕事が身近に感じる機会が少ないと感じています。ただ、こうして直接お話しする機会があることで、少しずつ距離が縮まるのではないかと思います。

**中原** 議員は、市民の皆さんの代表として活動しています。しかし、その役割や日々の活動が十分に伝わっていないという点は、議会としても課題であると認識しています。今後は、より分かりやすく、開かれた議会を目指し、情報発信や対話の機会を増やしていく必要があると考えています。

### 「ここで子育てしてよかった」と思えるまちへ

**西村** 春日市に対する期待や、これからのまちづくりについてお聞かせください。

**豊田さん** 春日市は本当に良いまちだと思っています。だからこそ、ここで子育てをする人たちに「このまちが好き」と思い続けてほしいですし、「ここで子育てしてよかった」と感じてもらえる環境であってほしいと思います。

**中原** 私たちも、市民の皆さんが「ここが自分の故郷だ」と誇りを持てるまちを目指しています。そのためには、子育て世代をはじめとした多くの声をしっかり受け止め、政策に反映していくことが重要です。今回の対談のように、市民の皆さんと直接対話を重ねながら、より良いまちづくりを進めていきたいと考えています。



市議会を分かりやすく親しみある議会に //

## スリーシー 3Cプラン!



2026年、1月～3月までの「3Cプラン!」の活動をご紹介します

### 1/26・28 春日西小学校 5年生授業 「みんなの命を守る防災」

「みんなの命を守る防災」をテーマに、校区ごとに地域の防災について事前に調べたことや、これから必要な備えについて発表がありました。

子どもたち一人ひとりが熱心に取り組んでいる姿がとても印象的でした。発表を受けて質問をしたり、議員としてアドバイスや感想をお伝えしました。



### スリーシー 3Cプラン! とは?

**City Council** シティカウンスル 市議会  
**Citizens** シティズン 市民  
**Connect** コネクト つながる

3つの頭文字を表し、「市民の皆さまにわかりやすく、親しみのある議会」を目指しています。

### 2/20 春日西小学校 3年生授業 「春日市のうつりかわり」

グループごとに分かれ、小学生ならではの視点で考えた春日市の未来についての発表を聞きました。

発表ではクイズを交えるなどの工夫が見られました。あわせて、議員から感想を述べる場面もあり、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。



### 3/18 春日北中学校、春日市へ提案書を届ける!

これまで春日北中学校と春日市議会が取り組んできた3Cプラン（主権者教育）の最終成果として作成された提案書が、扇教育長立ち合いのもと、学校を代表して下川先生から生田こども支援部長へ届けられました。

この提案書は「春日市こども計画（案）」をもとに、子どもを取りまく現状を分析し、より住みやすいまちづくりを効率・公正・実現性の3つの視点から、より住みやすいまちづくりについてプランをまとめたものです。

議員は生徒のプレゼンテーションを受けて、「どうすればもっと良い生活につながるのか」という視点でアドバイスをを行い、生徒の皆さんと一緒に考える時間となりました。

生徒一人ひとりの声が、これからの春日市政に反映されていくことを期待しています。



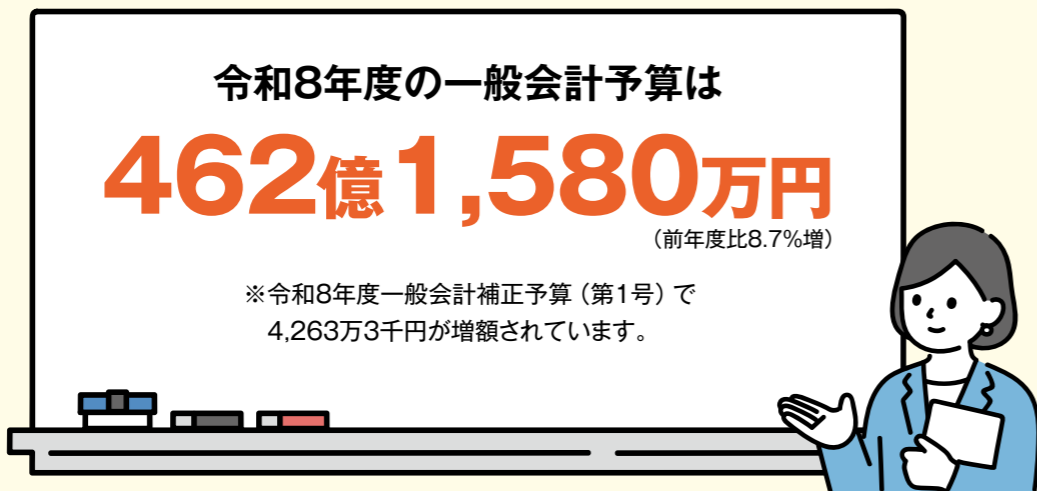
# 予算を議会がチェック!

3月定例会では、議員全員による予算審査特別委員会を設置し、付託された2件の予算案件について5日間にわたり審査を行いました。

付託  
議案

- 令和8年度一般会計予算
- 令和8年度一般会計補正予算(第1号)

令和8年度一般会計補正予算(第1号)は、プレミアム付き商品券助成事業費等を増額するものです。



## 予算の重点的な取り組みをピックアップ

継続

### 市中央部市民活動交流拠点整備事業

3億4,563万円

市中央部エリアに市内の福祉施設等を移転集約した(仮称)地域共生交流施設を整備するとともに、エリア内の既存施設の改修等を行うことで、地域共生社会の実現及び市民活動・交流の活性化等を図る。

令和8年度は、地域共生交流施設エリアの造成工事・建物基礎工事、コンビニ・スポーツ施設エリアの造成工事等を実施する。

新規

### 重層的支援体制整備事業

1,691万円

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、既存の介護、障がい、子ども、生活困窮の相談支援等の取り組みを活かしつつ、属性を問わない包括的な支援体制を整備する。

新規

### 特定乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)

3,783万円

0歳6か月から満3歳未満の保育所等に通園していない子どもを対象に、保護者の就労要件を問わず、時間単位で柔軟に保育所等を利用できる制度を実施する。



新規

### RSウイルス ワクチン予防接種事業

2,356万円

予防接種法に基づき、伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するため、新たに妊婦に対するRSウイルスワクチンを定期予防接種の対象とする。



継続

### 春日西多目的広場 公園整備事業

10億5,686万円

市西部のスポーツ・レクリエーション施設の拠点として、西野球場の保全を図るとともに、防災機能の維持・向上を図り、多目的広場を中心とした市民が集う多様な機能を有した春日西多目的広場公園として一体的に整備する。

令和8年度は、公園南側エリアの広場整備工事を実施する。

継続

### 西鉄春日原駅 周辺整備事業

7億5,377万円

工事最終年度として県が実施する西鉄天神大牟田線連続立体交差事業に連動し、春日原駅東西の駅前広場及び周辺道路を整備し、にぎわいと利便性の高い空間を形成するための基盤づくりを推進する。

新規

### 小中学校屋内運動場 空調設備整備事業

2,994万円

市内全小中学校の屋内運動場に空調設備を整備することにより、平時の教育環境の充実だけでなく、災害時の居住性の向上を図る。

令和8年度は、6中学校の設計を実施する。

整備完了予定は、中学校が令和9年度、小学校が令和10年度。



新規

### 小学校給食費 負担軽減事業

4億8,743万円

子育て世帯の経済的な負担軽減を目的として、小学校の給食費を無償化する。



本会議の  
各討論はこちら



本会議での  
討論

賛成討論を行った議員

米丸 貴浩議員  
安部 仰議員

反対討論を行った議員

吉居 恭子議員  
有村 博議員

こんなことを  
決めました

# 議案審査

## 令和8年 第1回 春日市議会定例会

◆市長提出議案 31件

(条例10件、予算15件、人事4件、報告1件、その他1件)

◆委員会提出議案 1件

◆意見書 1件

賛成

反対

### 人事 案件

#### 副市長の選任

高田 勸治 (1期目)

任期は令和8年4月1日から4年間

同意

#### 教育委員会教育長の任命

山崎 明彦 (1期目)

任期は令和8年4月1日から3年間

同意

### 特定乳児等通園支援事業の運営に関する 基準を定める条例の制定

原案  
可決

●子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定めるもの

**問** 条例第3条運営に関する基準は内閣府令に準拠するとあるが、本市で運用するに当たり、当該府令を準用することで齟齬や支障が生じることはないか。

**答** 内容を確認した上で、齟齬が生じないように整備している。

**問** 条例第5条に過料を規定している理由はなにか。

**答** 特定乳児等通園支援事業においては、年1回の指導検査を行うこととなっており、その際に虚偽の報告や立入拒否があった場合を想定し、過料の規定を条例に設けている。

### 都市公園条例の一部を改正

原案  
可決

●開発行為により市に帰属した施設を緑地として適正な管理を図るとともに、春日西多目的広場公園多目的広場の使用料の額を改定すること等に関し、所要の規定の整備を図るもの

**問** 料金が上がることに関連して、老朽化対策やバリアフリー化など、市民の満足度を上げるための工夫はどう考えているか。

**答** 旧西野球場は野球専用であったが、リニューアル後は「多目的広場」としてサッカーやソフトボールなどの利用も可能となる。面積が拡張されたことと、用途が広がることによって、これまでよりも利便性が大きく向上する。

**問** 多目的広場の使用料がこれまでの1.5倍に増額されることで、毎週利用している少年野球チームなどの負担が大きくなる懸念があるが、市としての支援策はあるのか。

**答** 市のスポーツ協会加盟団体などの定期利用者については、減免制度が適用されるため負担が抑えられている。また、リニューアル前の旧西野球場時代の料金も1時間あたり1,650円であったため、実質的な負担増にはならないと考えている。

### 令和7年度一般会計補正予算(第12号)

補正額 / 8億7,874万3千円増 歳入歳出総額 / 476億3,775万2千円

原案  
可決

**問** 災害対策総務事務費について、避難所用資機材の中学校への配備について、市内6中学校等に避難所用テントとベッドを各100セット常備する目的は何か。

**答** これまでは総合スポーツセンターに一括保管していたが、発災時の迅速な設営と避難者のプライバシー保護を重視し、地域未来交付金を活用して各学校等へ新たに配備するものである。

**問** 給付金・定額減税補足給付金給付事業費について、減額理由と給付状況は。また、未給付の方々に対する対応は。

**答** 事業終了に伴うものである。また、当初見込件数に対して、給付件数は13,187件、94.34%である。未給付の方々には、再度通知を行っている。

**問** 商店街活性化事業費について、制度を見直して申請しやすくしたにもかかわらず、申請がなかった理由は。

**答** 商店街内での合意形成が難しかったことや、会場確保ができず断念した団体があったためである。制度の改正内容が浸透していない面もあるため、活用に向けて積極的に働きかけていく方針である。

### 令和8年度国民健康保険事業特別会計予算

当初予算額 / 99億7,111万8千円 前年度比 -1億2,394万4千円 (-1.2%)

原案  
可決

**問** 県に対する国民健康保険事業費納付金(医療分)について、緩和措置によって令和8年度事業費納付金への保険料水準の統一化の影響額は大きくはなかったが、緩和措置はそのまま続いていくと考えてよいか。

**答** 令和11年度を目標年次としての実施は示されているが、それ以降の継続は未定である。

**問** 令和6年度の特定健診受診率は、個別健診の伸びや受診勧奨によって33.1%と大きく上昇している。受診券を送付する際に特定健診未受診者の医療情報収集様式を同封することによって、本事業の周知及び受診率向上における更なる効果が期待できると考えるがどうか。

**答** 特定健診の受診勧奨をまずは積極的に行い、特定健診が未受診かつ通院しているの方々に対しては、医療情報収集事業を今後も進め特定健診の受診につなげていきたい。

### 令和8年度介護保険事業特別会計予算

当初予算額 / 83億2,731万1千円 前年度比 -5,345万3千円 (-0.6%)

原案  
可決

**問** 要介護認定者数の計画値と実績値はどのようにになっているか。

**答** 令和7年9月末時点で、計画値4,603人に対し実績値4,513人と下回っている。特に要介護4・5の重度者数が計画値を下回っており、全体的に軽度・中等度者が多い傾向にある。

**問** 施設介護サービス給付費の伸びがあまり見られず、また、特定入所者介護(予防)サービス給付費が減額となっている要因はなにか。

**答** 重度者が想定よりも少ないことに加え、市内に住宅型有料老人ホームが増えていることが要因と考える。

## 工事請負契約の締結 (春日西多目的広場公園南側エリア防球フェンス整備工事)



●春日西多目的広場公園南側エリア防球フェンス整備工事の請負契約を締結するに当たり、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により市議会の議決を求められたもの

**問** なぜ一般競争入札ではなく指名競争入札を採用したのか、また落札率が約75%となったのは、設計額が高すぎたのか、それとも特殊な工事ゆえの要因か。

**答** 本工事に対応可能な登録業者が17者と限られていたため、その全者を指名することで公平性と競争性を確保した。また、約75%という落札率は、各業者のメーカーとの関係性や特殊工法への対応力による価格差が反映されたものであり、設計額そのものが高かったわけではない。



すべての議案はこちら



### 3月定例会 議決結果一覧 賛否が分かれた議案

令和8年第1回(3月)定例会 件名	議決結果	賛成	反対	議員																			
				公明党	翔春会	幹	創政会	春陽会	明社会	会派に所属しない議員													
				◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○		
				高橋裕子	原克巳	森山五月	佐藤誠之	船久保信昭	迫賢二	西村澄子	松尾徳晴	米丸貴浩	岩淵 稔	安部 仰	田中隆志	奈須純子	中村孝三	北田 織	吉居恭子	内野明浩	西川文代	有村博	
特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和8年度 一般会計予算	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和8年度 国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和8年度 後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
令和8年度 介護保険事業特別会計予算	原案可決	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和8年度 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
意見書 非核三原則の堅持を求める意見書	原案可決	13	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※中原智昭議員(春令会)は議長職のため、表決権はありません

※◎は会派代表者(○賛成/●反対)

そのほかの議案については全員賛成



ここが聞きたい!

## 一般質問



### 一般質問とは

議員がその所属する地方公共団体の執行機関に対し、

- ①事務の執行の状況や将来に対する方針などについて質したり、
- ②報告や説明を求めたり、
- ③疑問を質すことをいいます。

一般質問は、定例会に限って許され、臨時会ではできません。また、質問は議案とは関係なく行政全般について認められます。

いつでもどこでも、スマートフォンなどでQRコードを読み取ると、YouTubeで一般質問の録画映像を視聴することができます。



### 改正道路交通法施行の市民への周知について



さこ けんじ 議員  
迫 賢二 議員



**問** 子どもたちの登下校等を見守っていただいている方々とのルールの共有や連携の必要性は。

**答** 非常に大切な事と認識している。ルールの共有や連携に努めていく。

**問** 今後の交通安全教室のあり方をどのように考えているか。

**答** 自らの命を大切に、何が危険かを的確に判断し、自律的に行動できる「生きる力」を育む事が本質であると考えて。「大人がまず手本となる」、これこそが子どもたちに対する最も説得力のある安全教育である。



### 春日市職員倫理条例と投票率アップの今後は



にしかわ ふみよ 議員  
西川文代 議員



**問** 職員倫理条例や規定が必要と考えるが現在はない。必要性や内容の検討状況は。

**答** 現在検討しておらず早急に検討する必要性もないと考える。今後も市独自のさらなる対策を進める。

**問** 10代20代の投票率向上を優先的課題と捉えた取り組みの充実が理解するが有権者の15%である。2027年50%の目標達成には30歳以上への取り組みの充実が必要と考えるが見解と今後の施策の展開は。

**答** 取り組みは全世代において重要だと考え、実現可能な範囲で取り組みを進めていく。



### 公共施設における 安心できる環境整備について



もりやま さつき  
森山 五月 議員



**問** 障がい福祉担当の相談窓口には仕切りやパーテーションはなく、相談中に人の視線が入ってしまう、あるいは声が聞こえてしまうという状況があり、相談しづらいというお声を伺っている。相談窓口において環境改善を速やかに進めるお考えがあるのか伺う。

**答** 現在の限られたスペースの中で、手続きの円滑さとプライバシーへの配慮の両立を図ることができるよう、引き続き具体的な環境整備の在り方について検討していく。



### 多文化共生社会の 実現に向けて



はら かつみ  
原 克巳 議員



**問** 本市の外国人住民は増加傾向であり、令和8年2月末現在で1,769人である。外国人転入時の丁寧なオリエンテーションや、市民への多文化共生に関する啓発に工夫が必要では。

**答** 転入時の取り組みと個別相談の庁内横断的な支援に努めるとともに、丁寧な説明の在り方等についても研究する。

**問** 外国人に関する政策や相談を総合的に担当する部署が必要では。

**答** 多文化共生社会の構築に向けてどのような対応が必要となるのか検討する。



### 成年後見制度を支える 体制整備について



さとう まさゆき  
佐藤 誠之 議員



**問** 本市において市民後見人という存在を成年後見制度全体の中でどのように位置づけているのか、本市の見解は。

**答** 現在の本市の状況では、市民後見人を養成し、活動を支援していく体制がまだ整っておらず、市民後見人の活用は困難な状況である。将来的に後見人の不足が懸念される場合や、市民後見人のニーズが高まれば、市民後見人の育成なども視野に入れ、体制を進める必要もあると考えている。



### 学校・公共施設に 生理用品の設置を



にしむら すみこ  
西村 澄子 議員



**問** 公共施設の生理用品の常設設置・無償配付は。

**答** 補充、管理、持ち出し、衛生面、費用負担、財源確保の課題により、常設や無償配付は行っていない。

**問** モデル校・施設で試行的に設置し、利用状況や課題の検証も有効ではないか。

**答** 自分で用意する習慣が身につくにつれて、試行的な設置・検証は考えてない。

**問** 災害時にどのような方法で配付を想定しているか。

**答** 男女共同参画の視点に配慮した、保管や配付方法を想定している。



### 多様な人材を掘り起こし 関わる人を増やそう



たかはし ゆうこ  
高橋 裕子 議員



**問** 有償ボランティア・スクーター3ステップで助っ人になる①ネットで掃除や配膳など資格不要の隙間仕事を無料で検索・応募②施設等で1回2～3時間自分の特技や空き時間を生かし現場でサポート③謝礼と評価。将来の介護離職防止や市民の生きがい創出につながるのであれば極めて投資対効果が高い。令和時代の互助インフラ構築についての見解は。

**答** 実例を参考に有償ボランティアが介護現場で業務の負担軽減に資するものかどうか精査する。



### 本市の広報戦略と 実装フェーズについて



あべ あおぐ  
安部 仰 議員



**問** 広報は単なる情報発信ではない。信頼構築、参加促進、まちのブランド形成である、本市は広報を経費として捉えているのか、それとも未来への投資として捉えているのか伺う。

**答** 広報費は財務的に支出される経費であるが行政経営の観点では投資的性格を持つものであり、未来への投資と捉えている。選ばれる、選ばれ続ける自治体となることにつながるものと考え、全ての職員の広報意識を向上させながら、より一層効果的な広報活動に取り組んでいく。



### ボランティア活動の 活性化について



たなか たかし  
田中 隆志 議員



**問** 本市ホームページ上に、所管横断で募集中ボランティア等を一覧で検索できるサイトを整備しては。

**答** 市が各情報を把握、調整は困難。一方で、ハルイロかすがを開設。このサイトに、行政が募集するボランティアや、各種情報が集まり、一元的に検索ができる。

**問** ボランティアポイント制度について、多世代参加につながる制度拡充を検討する考えは。

**答** 今後の制度設計については、10期以降の介護保険事業計画を策定する中で研究していく。



### 男女共同参画で 女子トイレに生理用品設置を



よしい きょうこ  
吉居 恭子 議員



**問** 男女共同参画の視点を持つ自治体では、女子トイレに生理用品を設置するというのが広がっている。本市においても、小中学校から始め、公共施設の女子トイレに配備していただきたいと考えるがどうか。

**答** 小中学校については、社会状況の変化や他自治体の取り組みにおける効果や課題を参考にしながら、情報収集等を行っていく。他の公共施設については、市として課題を整理する必要があり、現時点では考えていない。



## 補助金行政の改善について

ありむら ひろし  
**有村 博** 議員



**問** 補助金制度を単に予算を執行する手段としてではなく、市民の取り組みを支援し、政策効果を高める手段として、どのような考え方で運用しているのか。

**答** 行政目的を効果的に実現するため、市民や団体の自主的な取り組みを支援し、その活動を通じて政策効果を高めるための重要な手段であると認識。補助金の効果や必要性を継続的に確認し、必要に応じて制度内容の見直しを行うなど、政策目的の実現に資する実効性の高い制度運用に努める。



## 健康タウン構想構築の考えは

きただ のぼる  
**北田 織** 議員



**問** 健康タウン構想とは、ラジオ体操を核に、住民の健康増進や交流促進を図り、持続可能な明るい地域社会の構築を目指す事業である。本市の取り組みと市制55周年記念事業に、テレビでおなじみの専門講師を招聘し、ラジオ体操の集い及び講習会を行う考えは。

**答** 既存の健康教育や高齢者の保健事業、介護予防事業等の中で検討している。記念事業は白紙であるが、専門講師によるラジオ体操の集い開催について、検討を進めたい。



## 重要施設周辺等の土地取得状況等について

なかむら こうぞう  
**中村 孝三** 議員



**問** 自衛隊施設周辺の土地取得状況を把握しているか。

**答** 市が独自の基準で調査を行うことは、かえって市民に混乱を招くおそれがあるため、市独自の実態調査を行う考えはない。

**問** ガソリン税の暫定税率廃止に伴う地方財政への影響について譲与税減額が市財政にどう影響を及ぼすか。

**答** 地方揮発油譲与税自体は減額となるものの、現時点ではその分の財源措置が予定されていることから、本市の財政に直ちに大きな影響が生じるものではないと考えている。



## 外国人在住者との地域共生社会について

なすじゅんこ  
**奈須 純子** 議員



**問** 本市における外国人在住者の現状は。

**答** 令和3年度から外国人在住者の数が大きく増加。住民登録している外国人数は令和4年2月末880人が令和8年2月末には1769人と約2倍になっている状況。

**問** 地域共生社会の実現に向けた取り組みは。

**答** 各地区自治会において地域行事や交流イベントなど多様な機会が設けられている。外国人在住者の皆様には、お住まいの地域における交流の場に関心を持っていただき、自治会行事等への参加を通じてつながりを育んでいただきたい。



## 意見書

地方自治法の規程に基づき、春日市の公益に関する意見書を国に提出しました。

### 第1号意見書案 非核三原則の堅持を求める意見書



**提出者** 原 克巳 議員

**要旨** 我が国は世界唯一の被爆国として、核兵器を「持たず、作らず、持ち込ませず」の非核三原則を国是とし、平和国家の歩みを続けてきた。本市議会においても昭和60年に「非核平和都市」を宣言し、核兵器廃絶と恒久平和を願い続けているところである。しかし昨今、核兵器を含む安全保障の議論が見受けられる中で、国際社会における我が国の信頼の礎であり、安全保障の基盤である非核三原則を堅持することは極めて重要である。よって、政府に対し、これまでの国会決議及び政府方針を尊重し、非核三原則を将来にわたり堅持されることを強く求める。

意見書の本文はこちらから



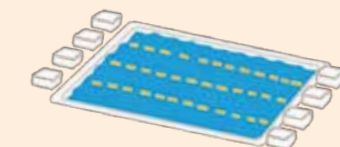
## 議会から市へ提言を行いました



### 『学校プールのあり方について』（こども文教委員会 提案）

本委員会は、「水泳授業の質の向上」「学校プールの維持管理」「教職員の働き方改革」の三点を、約一年間の所管事務調査として実施した。

調査の結果、本市の実情に即した官民連携による新たな水泳教育の仕組みづくりを、多角的な視点から推進するべきとの結論に至った。



提言

既存施設の老朽化の度合いや、地域バランスを考慮し、改修時期を迎える学校から順次、民間活用可否を判断する「段階的な導入」を検討すべきである。  
教育環境の維持が急務な施設については、当面の指導体制を確保するための改修を容認しつつ、並行して全体的な民間委託推進に向けた中長期的なロードマップを策定することを提言する。

## 会派の構成・議席・議会運営委員会委員が変わりました

議員の所属会派の変更などに伴い、会派の構成・議席・議会運営委員会委員が変更になりました。

会派の名称	代表者	所属議員
公明党	高橋 裕子	原 克巳、森山 五月、佐藤 誠之
創政会	松尾 徳晴	米丸 貴浩
明社会	北田 織	奈須 純子
春陽会	船久保 信昭	内野 明浩
翔春会	安部 仰	迫 賢二
春令会	西村 澄子	中原 智昭、岩淵 穂

会派に所属しない議員  
中村 孝三、吉居 恭子、西川 文代  
田中 隆志、有村 博

議会運営委員会	
委員長	高橋 裕子
副委員長	船久保 信昭
委員	松尾 徳晴
	北田 織
	西村 澄子
	安部 仰
	原 克巳

※委員は各会派の代表及び各会から選出された議員で構成されています。

議席一覧表など詳細はこちら



臨時会報告

第1回 春日市議会臨時会

令和8年1月20日(火)



○令和7年度一般会計補正予算(第10号)について

補正額 8億9,891万8千円  
歳入歳出総額 467億1,510万2千円

物価高騰に対する支援として、市に住民登録がある市民に対する給付金及び0歳から高校生年代までの児童を養育する父母などに対する子育て応援手当の支給を実施するため、関連予算を補正。

臨時会とは

必要がある場合に特定の案件に限って招集される議会です。招集の権限は市長にあります。議長もしくは議員定数の4分の1以上の議員から、市長に対して招集請求することもできます。



議会でワウの大冒険! 春日市議会

1/31(土)、福岡女学院大学、春日市議会、春日市選挙管理委員会が連携し、小学生を対象とした模擬投票イベントを議場で開催しました。福岡女学院大学 人間関係学部心理学科3年生21名の皆さんが講師となり、議員もサポートとして参加しました。本事業は、小学生のうちから主権者意識を育み、将来、選挙権を持った際に主体的な投票行動へとつなげることを目的としています。当日は、大学生の皆さんが企画した「選挙クイズ」や「模擬投票」、「議会探検」などを体験し、楽しみながら選挙や議会の仕組みを学び、政治や選挙をぐっと身近に感じてくれた様子でした。未来の有権者の第一歩を応援する、笑顔あふれる一日となりました。



議会だより配ります!

議会だよりを通じて、春日市議会を知ってもらう取り組みをスタートしました。早速、春日市内に9ヶ所ある郵便局にて閲覧・配布のご協力をいただけることとなりました。各郵便局の皆さまのご協力に感謝いたします。

春日市内でご協力いただける会社やお店の方がおられましたら、ぜひご連絡ください!



令和7年度 議会評価

春日市議会では、議会基本条例5条に規定する市議会の評価を毎年3月に行っています。



春日市議会基本条例		重点目標の設定		達成状況		今後の取組		
条項	項目	重点目標	達成基準	達成度	達成状況(具体的な取組状況)		方向性	
3	2	政策立案機能充実	①現行の所管事務調査は令和3年度から実施しており春日市議会に定着していると言える。引き続き取り組んでいく。 ②常任委員会の閉会中調査事件の充実を図る。	○	①-1 1か月に1回以上常任委員会(協議会を含む)を開催し調査事件の研究を行っている。 ①-2 各常任委員会が先進地視察を実施。 ・総務企画委員会:7月 ・市民共生委員会:11月 ・こども文教委員会:7月 ①-3 所管事務調査に対する成果 ・総務企画委員会:令和8年3月定例会での最終報告に向けて調査を実施中。 ・市民共生委員会:6月定例会で提言を実施。引き続き令和8年9月定例会の最終報告に向けて新たな調査を実施中。 ・こども文教委員会:令和8年3月定例会での最終報告に向けて調査を実施中。	改善	2委員会が令和8年3月定例会、1委員会が令和8年9月定例会での最終報告に向けて現在調査を続けている。最終報告後は次期に向けて新たな所管事務調査の手法について委員長会で調査研究を行う。	
4	1	透明性の確保と活発な議論	①議員(委員)間討議の活用を図る。 ②本会議における議員間討議採用の可否について、議会運営委員会で協議を行う。	×	①12月定例会までに各委員会とも実施されていない。 ②4月から6月にかけて討議の手法に合わせて協議したが結論に至っていない。	継続	各常任委員会に年に1度は委員間討議を実施するよう目標を立てたが、適する議案等がないなどの理由により実施に至らなかった。このことについては今後も意識的に取り組んでいく。本会議における議員間討議については、課題を整理しながら今後も研究していく。	
11	1	市民意見の市政反映と広報広聴の充実	意見交換会の充実・強化を行う。	①3Cプランとして議長直轄の研究会を立ち上げ、意見交換会の充実・強化を行う。	◎	①代表者会議の下に議長直轄の会議(3Cプラン)を設置、年間をとおして意見交換会等の企画運営について協議をし、実施した。	継続	引き続き代表者会議で意見交換会等の企画運営の協議を行っていく。
			意見交換会の充実・強化を行う。	②市民との意見交換会の手法について整理し、年間に数回開催する。 ③イベント会場などに議会ブースを出展し広聴機能を高める。 ④アウトリーチ型の広聴について研究し、年間に2回以上実施する。 ⑤学生、生徒に議会の理解を深めるため、全中学校と春日高校へ議会が積極的に出かける。	○	②直接の意見交換会ではないが、10月13日にスポーツフェスタモルック大会、11月8日に障がい者啓発スポーツ大会に出場し市民との交流を図った。 ③10月4日・5日に春日奴国あんどん祭り、11月8日・9日に春日市文化祭、12月6日にアクロスモール春日に議員ブースを出展した。 ④7月15日に文化協会と意見交換会を実施。7月17日、スポーツ協会と意見交換会を実施した。 ⑤昨年度と同様、6中学校と意見交換会(議場体験を含む)を調整した。春日高校とは調整が整わず実施が出来なかった。(10/21春日東中、11/12春日北中、11/17春日西中、11/19春日中、11/25春日南中(インフルエンザの流行により中止)、11/27春日野中)	継続	今年度は手法を模索しながらの実施であったが概ね目標は達成することが出来た。今回の課題を検証し、改善しながら今後も実施していく。
			意見交換会の充実・強化を行う。	⑥児童に理解を広めるため小学校にも拡大する。	○	⑥5小学校と意見交換会(議場体験を含む)を実施した。(5/14・5/23春日原小、5/16春日野小、6/3白水小、7/4日の出小、1/26・1/28・2/20春日西小)	継続	今年度は手法を模索しながらの実施であったが目標は達成することが出来た。今回の課題を検証し、改善しながら今後も実施していく。
		議会報告会の充実を図る	①議会報告会を意見交換会として年間に2回以上開催する。 ②そのために基本条例のあり方を調査研究する。 ③新たな意見交換会の実施に向けて調査研究を継続する。	○	①②③ 現在実施している意見交換会を市議会報告会に位置づけ、報告中心であった「議会報告会実施要綱」を見直し「春日市議会ミーティングテーブル実施要綱」を策定、広聴重視の要綱とした。要綱の改正のみで、基本条例の改正は要しなかった。	終了	報告会から意見交換会にシフトし、次年度以降積極的に取り組んでいく。議会報告会としては終了する。	

◎→目標を超えて達成できた、○→目標を達成できた、△→目標よりやや低い水準であった、×→目標よりかなり低い水準であった  
 [終了]→目標を達成又は事情変更により取り組みを終了する。[継続]→手法・内容等を基本的に維持し、引き続き取り組む。  
 [拡充]→手法・内容等を見直し又は拡充し取り組む。[改善]→手法・内容等を大幅に見直し取り組む。  
 ※方向性の判定と別に次年度の重点目標を判断する。終了でないから次年度の重点目標に取り上げられるとは限らない。

ぜひ傍聴に来てください!

# 議会を見に行こう!



令和8年  
**6月**  
定例会

## 会期日程

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 本会議 (提案説明)	4	5 本会議 補予審特別委	6
7	8 常任委員会 (審査)	9 常任委員会 (審査) 広報特別委	10 常任委員会 (審査)	11	12	13
14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (一般質問)	17 常任委員会 (採決) 広報特別委	18 補予審特別委 (採決) 議会運営委 常任委員会	19 常任委員会	20
21	22 本会議 (採決)	23	24	25	26	27
28	29	30				

- 本会議を傍聴したい方は、市役所1階市民ロビーの傍聴席入口からお入りください。
- 入口横のカウンターに受付簿が置いてありますので、住所・氏名の記入をお願いいたします。
- 本会議の様子は、市民ロビーに設置されているテレビモニターでもご覧になれます。
- 傍聴席は一般席72人、車椅子席4人、親子席4人となっています。

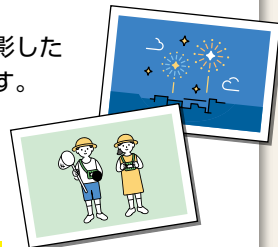
あなたの写真が  
表紙に!



## 表紙写真

# コンテスト

議会だよりの表紙に  
市民のみなさんが撮影した  
写真を募集しています。  
たくさんのご応募  
お待ちしております。



**1位の写真は**

**次号226号の表紙に掲載!**

(令和8年9月1日発行)



表紙に選ばれなかった写真も  
議会SNSでご紹介する予定!

次回締切 **6月10日(水)まで**

自慢の写真を  
ご応募ください!

応募方法詳細はコチラ



## 春日市議会 SNS 発信中!

みなさまの意見を  
市政にいかして  
いきます!



議会だよりで掲載しきれていない、市議会の活動や議会の様子などを随時発信しています! ぜひご覧ください。

**Instagram**

議会の様々な活動を発信!



**YouTube**

定例会の様子をご覧ください。  
各ページのQRコードから視聴できます。

## いろいろ

春日市に補助金があるLFCコンポストを使って、生ゴミを堆肥にすること約4年。計算上では、なんと500kg以上の生ゴミの減量と、CO<sub>2</sub>排出量を200kg抑制に成功していることに。栄養たっぷりの土で家庭菜園も継続中。おすすめは生姜とニンニクです。もし春日市民全員で生ゴミ堆肥作りに取り組みたら、年間数万トンのゴミ減量と償却費用削減ができる。街全体が「捨てる場所」から「資源を生む場所」へと変わる可能性があると考えたら、ちょっとワクワクします。

「命」を守るための営みには循環が必要です。命を維持するために、水や食べ物や土や自然が循環している仕組みを学ぶことは、災害時の備えにもなるし、教育的な価値も高いと思います。消費者で居続けることに慣れてしまった現代社会において、小さな生産者になるきっかけとしても、命を育てる経験としても、そして良き消費者であるためにも、生ゴミコンポストや家庭菜園を、素敵な入口にしてみませんか? 有村



広報  
特別委員会

委員長 西村 澄子  
副委員長 安部 仰  
委員 中原 智昭  
委員 有村 博

かすが議会だよりの No.225 令和8年6月1日発行

■発行/春日市議会 ■編集/広報特別委員会

【春日市議会事務局】 〒816-8501 福岡県春日市原町3丁目1番地5

TEL: 092-584-1113 FAX: 092-584-1146 E-mail: gikai@city.kasuga.fukuoka.jp

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。